

日興高金利通貨ファンド (資産成長型)

ファンドの概要

設定日 2008年4月28日
 償還日 2018年4月20日
 決算日 原則4月20日
 収益分配 決算日毎

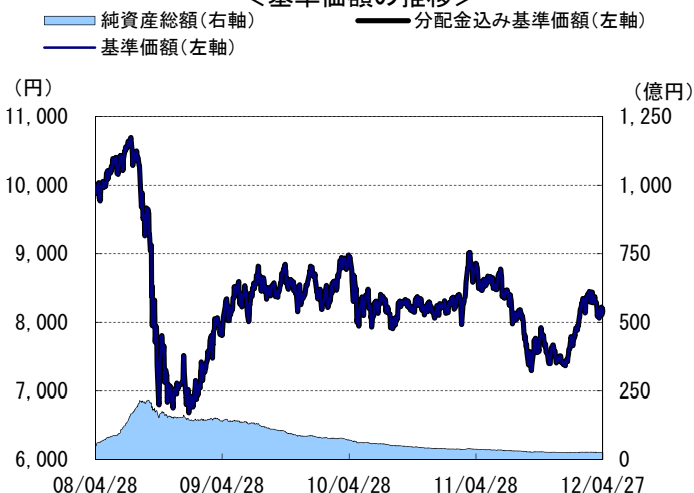
ファンドの特色

1. 新興国を含む世界の高金利通貨に投資を行ない、高水準な金利収入の獲得と中長期の資産の成長をめざします。
2. 新興国通貨部分はパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー (PIMCO)、先進国通貨部分は日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドが運用を担当します。

運用実績

※このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<基準価額の推移>



基準価額 : 8,156円

純資産総額 : 25.20億円

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-1.53%	6.48%	4.78%	-7.95%	2.85%	-18.44%

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し計算しています。

※分配金込み基準価額の推移は、分配金(税引前)を再投資したものを表示しています。

※基準価額は、信託報酬(年率1.1325%(税抜1.09%)程度)控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

<分配金実績(税引前)>

09・4・20	10・4・20	11・4・20	12・4・20
0円	0円	0円	0円

<資産構成比率>

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)	69.8%
ハイグレードカレンシーファンド クラスA	29.8%
その他	0.4%

<ファンドの最終利回り>

最終利回り	4.83%
-------	-------

※上記の数値は月末時点で組み入れている各投資信託証券の利回りを評価額のウェイトで加重平均したものです。

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

<基準価額騰落の要因分解>

前月末基準価額	8,283円
当月お支払いした分配金	0円
為替	
ブラジルリアル	-31円
ノルウェークローネ	1円
インドルピー	-26円
フィリピンペソ	0円
コロンビアペソ	0円
トルコリラ	-3円
オーストラリアドル	4円
ニュージーランドドル	2円
インドネシアルピア	-11円
南アフリカランド	-14円
ルーマニアレイ	-11円
替	
ユーロ	-3円
デンマーククローネ	-2円
アイスランドクローネ	0円
アメリカドル	3円
その他	-28円
債券・その他	-8円
当月末基準価額	8,156円

※上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

<外国通貨別構成比上位（ファンド全体）>

1	チリペソ	8.3%	11	オーストラリアドル	5.5%
2	インドルピー	8.0%	12	ノルウェークローネ	5.2%
3	南アフリカランド	7.8%	13	デンマーククローネ	4.9%
4	ブラジルリアル	7.7%	14	ハンガリーフォリント	3.6%
5	ポーランドズロチ	7.7%	15	人民元	1.8%
6	ユーロ	7.7%	16	マレーシアリングット	1.3%
7	ロシアルーブル	7.4%	17	メキシコペソ	1.1%
8	コロンビアペソ	7.0%	18	シンガポールドル	0.7%
9	トルコリラ	6.6%	19	韓国ウォン	0.7%
10	ニュージーランドドル	6.2%	20	フィリピンペソ	0.6%

※比率は月末時点で組み入れている各投資信託証券の通貨別構成比をもとに計算した概算値です。

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ（JPY）のポートフォリオの内容

※ピムコジャパンリミテッドより提供された情報です。

<外国通貨別構成比>

チリペソ	11.9%
インドルピー	11.5%
南アフリカランド	11.2%
ブラジルリアル	11.1%
ポーランドズロチ	11.0%
ロシアルーブル	10.7%
コロンビアペソ	10.0%
トルコリラ	9.5%
ハンガリーフォリント	5.2%
人民元	2.6%
マレーシアリングット	1.8%
メキシコペソ	1.6%
シンガポールドル	1.0%
韓国ウォン	1.0%
フィリピンペソ	0.9%
その他	-0.9%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<格付別構成比>

短期金融商品	P-1	33.3%
	P-2	25.6%
	P-3以下	11.7%
	平均格付	P-2
債券	Aaa	0.0%
	Aa	0.0%
	A	5.3%
	Baa以下	24.1%
	平均格付	A3

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
 ※格付はMoody's、S&P、Fitchのうち、高い格付を採用しています。
 ※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<残存別構成比>

30日以内	0.4%
90日以内	40.2%
180日以内	36.0%
180日超	23.4%
平均残存日数	186日

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

最終利回り	6.14%
-------	-------

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
 ※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

ハイグレードカレンシーファンド クラスAのポートフォリオの内容

※日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッドより提供された情報です。

<外国通貨別構成比>

ユーロ	25.6%
ニュージーランドドル	20.8%
オーストラリアドル	18.5%
ノルウェークローネ	17.5%
デンマーククローネ	16.5%

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

<格付別構成比>

短期金融商品	P-1	95.9%
	P-2	0.0%
	P-3以下	0.0%
	平均格付	P-1
債券	Aaa	0.0%
	Aa	0.0%
	A	0.0%
	Baa以下	0.0%
	平均格付	-

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
 ※格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。
 ※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<残存別構成比>

30日以内	9.4%
90日以内	86.5%
180日以内	0.0%
180日超	0.0%
平均残存日数	58日

※比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

最終利回り	1.81%
-------	-------

※最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
 ※将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

当ファンドは、新興国の高金利通貨に投資を行なう「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)」および先進国の高金利通貨に投資を行なう「ハイグレードカレンシーファンド クラスA」に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

今月は、「PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)」に70%程度投資するとともに、「ハイグレードカレンシーファンド クラスA」に30%程度投資を行ないました。

今後も上記の配分を原則にして投資を行なっていきます。

PIMCOバミューダエマージングカレンシーハイインカムファンドJ(JPY)のコメント

※ピムコジャパンリミテッドのコメントをもとに作成

【4月の市場動向】

4月の新興国通貨市場は、雇用統計をはじめとする米経済指標の軟化やスペインの財政再建の遅れなどから欧州債務問題への懸念が再燃したことなどをを受け、軟調な展開となりました。また、当月は、ユーロ圏景況感指数が市場予想を下回ったことや一部の格付機関がスペインの長期信用格付けを引き下げたことがマイナス材料となりました。一方で、米企業の決算が好調であったことなどがプラス材料となりました。

国別では、ハンガリー、ペルー、トルコといった国々は市場平均を上回るパフォーマンスとなった一方で、ブラジル、インド、メキシコ、ポーランドといった国々は相対的に冴えない展開となりました。

【パフォーマンスとその要因】

4月中、多くの新興国通貨が対円で下落したことから基準価額は軟調に推移しました。ポートフォリオにおいては、ブラジル、メキシコ、ポーランド、南アフリカといった国々の通貨への投資が特にマイナスに寄与しました。

なお4月中には、利回り面での魅力が低下したインドネシア、ルーマニアへの投資比率を引き下げた一方で、利回り面でより魅力度の高いポーランド、コロンビアへの投資比率を引き上げました。

【5月の運用方針】

先進国とエマージング諸国間で、経済成長の「多速度化」が進展するものと見ております。先進国では、米国における家計、政府債務等の構造問題や欧州周辺国を中心とした財政問題などを背景に経済成長は低位にとどまるものと考えられます。一方で、エマージング諸国では中間層の増加などを通じた国内の消費市場の拡大や健全な財政状況などを背景に、相対的に高い経済成長が期待されます。足もとは、先進国の一部で経済環境の改善が見られ、欧州周辺国の債務問題についても一定の進展が見られますが、周辺国が抱える構造的な問題の解決には時間を要するため、外部環境の悪化がエマージング諸国に及ぼす影響については注意する必要があると考えられます。ただし、エマージング諸国の財政状況が健全であることや、政策金利の水準が相対的に高いことを考慮すると、財政および金融政策の余地が残されており、今後の経済的なショックに対する耐性は先進国と比較して相対的に強いと考えられます。

このような環境下、通貨の面で依然として割安度が強いと考えられるメキシコや、内需の拡大などを背景に相対的に高い経済成長が期待されるアジア通貨に対して積極姿勢とする一方、債務比率が高く外需に対する依存度の高いハンガリーなどに対して消極姿勢をとることを検討します。

ハイグレードカレンシーファンド クラスAのコメント

※日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドのコメントをもとに作成

◎市場環境

【ユーロ】当月ユーロは円に対して下落しました。フランス大統領選挙は、現職サルコジ大統領の敗北が予想されており、それは将来の経済政策の不確定要因となり得る為、欧州には緊張が残りました。スペインでは緊縮財政政策を受けて失業率がほぼ25%に達し、経済は景気後退に逆戻りしており更なる緊張を生んでいます。企業景況感低下、消費者信頼感も下向くなど、地域全体の経済指標は概ね予想を下回りました。

【ニュージーランド】当月ニュージーランドドルは円に対して下落しました。ニュージーランド準備銀行は「依然として世界経済の見通しが懸念される。短期的指標は減速し、金融市場のセンチメントも脆弱だ。」といった厳しい見方をしました。これは景気見通しがより弱気になったことを示しており、市場には利下げが近いのではないかと憶測も出てきました。

【オーストラリア】当月オーストラリアドルは円に対して下落しました。第1四半期のインフレ率は前年同期比で非常に低く、市場には今後数度におよぶ利下げがあるとの憶測が生じました。オーストラリア準備銀行は労働市場の弱さを懸念しています。

【ノルウェー】当月ノルウェークローネは円に対して下落しました。購買担当者景況指数は最近上昇が続き、小売売上高も大幅増を記録しています。しかし製造業生産高の伸びは減速し、総合インフレ率、コアインフレ率ともに低いまです。

【デンマーク】当月デンマーククローネは円に対して下落しました。第1四半期GDPは小幅ながら減少、小売売上高も未だにマイナス成長と、経済は依然として伸び悩んでいます。更に、月次の鉱工業生産、受注とも減少しました。

◎運用概況

当月の基準価額は下落しました。最近のニュージーランドドルの上昇を受けて一部売却し、オーストラリアドルの比重を引き上げました。欧州問題が再び表面化し、リスク回避姿勢が強まる中、欧州通貨が下げました。

◎今後の見通し

ここ数ヶ月間に欧州は落ち着きを見せ債務危機の情勢にも進展がありましたが、4月は再び欧州情勢に注目が集まり、不安定な市場に逆戻りしました。苦しい経済状況が続くスペインでは第1四半期の失業率が大幅に上昇となりました。加えて四半期GDPデータはスペイン経済が再び景気後退入りしたことを示しました。格付機関S&P(スタンダード&プアーズ)が財政赤字の悪化及び銀行システムに対する不安を理由に、同国格付付けをAからBBB+へと引き下げたことは、更に市場の懸念を増幅しました。オランダでは、財政赤字を欧州委員会の定めた上限であるGDPの3%に抑える為に必要な歳出削減策について、連立与党と自由党の間で合意に至らず、連立内閣が崩壊しました。フランスではオランダ候補が一回目の投票で勝利し、大方の予想では大統領に就任するとみられています。オランダ氏は幾分主張を和らげたとはいえ、様々な財政支出増を公約しており、合意済みの財政協定を再交渉する意向を表明しています。ドイツはいかなる再交渉も可能とするオランダ氏の考えに強硬に反発しており、ユーロ圏内二大経済間の対立につながる可能性が高まっています。米国では、企業業績が全般的に良好で、住宅市場も最低水準からここ最近持ち直すなど、経済データが引き続き改善しています。

世界的にインフレは緩和に向かっており、新興国の中央銀行による利下げにつながっています。この世界経済に対する刺激を受け、IMFは世界の経済成長予想を若干上方修正しましたが、先進国における成長は依然として弱いとみています。先進国の中央銀行は緊急避難的な緩和策を維持せざるを得ないと思われます。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／債券
お申込単位	<分配金再投資コース> (新規申込時) 10万円以上1円単位 (追加申込時) 1万円以上1円単位 (スイッチングの場合) 1万円以上1円単位 (全額スイッチングを行なう場合) 1円以上1円単位
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	2018年4月20日まで (2008年4月28日設定)
決算日	(毎月分配型) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) (資産成長型) 毎年4月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	(毎月分配型) 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。ただし、基準価額の水準などを勘案し、上記安定分配相当額のほか、委託会社が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。 (資産成長型) 委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
ご換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
ご換金不可日	換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
<お申込み時、ご換金時にご負担いただく費用>
- ・お申込手数料 : お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。

1億円未満	3.15% (税抜3.0%)
1億円以上5億円未満	1.575% (税抜1.5%)
5億円以上10億円未満	0.7875% (税抜0.75%)
10億円以上	0.525% (税抜0.5%)
 - ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
 - ・換金手数料 : ありません。
 - ・信託財産留保額 : ありません。
 - ・スイッチング手数料 : ありません。
 - <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>
 - ・信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.1325% (税抜1.09%) 程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.8925% (税抜0.85%)、投資対象とする外国投資信託の組入れに係る信託報酬率が年率0.24%程度となります。この他に、投資対象とする「ハイグレードカレンシーファンド クラスA」においては、固定報酬がかかります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
 - ・その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%以内を乗じて得た額が信託財産から支払われます。
組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託財産から支払われます。
※組入る有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
- ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
投資顧問会社	ビムコジャパンリミテッド
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	S M B C 日興証券株式会社

■お申込みに際しての留意事項

○リスク情報

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

信用リスク

- ・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・新興国の債券は、先進国の債券に比べて利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じるリスクが高まる場合があります。

為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

カントリー・リスク

- ・投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

デリバティブリスク

- ・金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

- ・当資料は、投資家の皆様に「日興高金利通貨ファンド（毎月分配型）／（資産成長型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：社団法人投資信託協会
 社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○